

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後デイサービスえ〜る		公表日		2025年 2 月 20 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	活動、子どもの特性などに応じてスペースを区切っている。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	4	人員がぎりぎり。法的には足りているが、現場では研修などがあると、不十分と感じることがある。	個別支援が不十分	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4	2	廊下が狭い。荷物棚が足りないなど、スペースが足りていない。視覚障害児にとっては安全とは言えない。	個々の子どもの障害特性に応じた配慮	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7		活動、子どもの特性などに応じてスペースを区切っている。清掃、消毒は毎日する。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		7		活動、子どもの特性などに応じてグループ分けなどの環境設定をしている。個室も利用して安全面を確保している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	職員の認知度が低いため、勉強会などを行っている。	系統的な研修計画が必要。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	評価表を基に職員の会議を実施し、理解を深める努力をしている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		打ち合わせや振り返りなどで改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		外部評価が大きな課題である。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		月一回は所内研修を実施している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	4	未公表 作成中	系統的なプログラムへの精度を高めていきたい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		年齢や理解能力に応じて、本人の参画を求めている。モニタリングや支援会議を元に職員の意見も反映して作成する。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		月に二回の支援会議や毎日の振り返りで理解を深めている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援会議で共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	3	フォーマルなアセスメントができていない	アセスメントの選択からできていない。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	職員会議、打ち合わせで実施している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	年間、月間プログラムに沿って実施している。日案が固定化しやすい。	職員の得意不得意に影響されやすい。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	個別活動は少なめだが、個人の特性や関わりを考えてグループ分けをしている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			連絡、連携が十分にできていない。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		次の日の午前中に実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		ソフトを利用して毎日記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し の必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		3ヶ月から6か月に一回は実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組 み合わせて支援を行っているか。	5			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決 定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	長期休業の時に実施できている。十分とは言 えない。日々、子どもに問いかけることを心 掛けている。	
関係機 関や保 護者 との連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		4	医療機関とのつながりは乏しい。障害、福祉 とはこまめに連携している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時 刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡） を適切に行っているか。	5		その都度、電話やメールなどで連絡をしてい る。	その日の様子を聴くことができていない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支 援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所 等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等して いるか。		4	現在対象児がない。	各事業所で時間を合わせる事が難しい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		4		センターが実施できていない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動す る機会があるか。	1	5	コロナから途絶えている。	令和7年度は再開する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	6		モニタリングでも時間を取って話をしてい る。	送迎時になるべく話ができるようにしてい る。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	4		保護者のみの会を6月に実施した。	令和7年度も計画する。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	4		契約時に話をしている。	十分ではない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意 思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こど もや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行 い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		モニタリングで説明を行い、同意を得るよ うにしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必 要な助言と支援を行っているか。	6		その都度電話や面談をしている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等によ り、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、 きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4	父母の会や兄弟児を支援する会を実施してい ない。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも に、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによ り、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対 して発信しているか。	6		保険便りや、え〜る便などを定期的に発行し ている。HPを利用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	1	利用児のファイルが見えるところに置いて あったりする。契約時に同意を得ている。	慎重に配慮する。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮 をしているか。	6		外部ソフトで毎日写真と文章で細かく報告し ている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を 図っているか。	3	2	知らない地域住民が多い。 部落放送を使用 してお知らせしたことがある。	今後はもっと外に出ていく予定である。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			マニュアルの精査が必要。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		研修や訓練を年に一回実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者からの情報を共有している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	事前に本人や家族に連絡して成分表の確認を取っている。おやつは担当とリーダーで二重チェックしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		反省会や職員会議など共有し、再発防止為の話し合いを行っている。	職員の自己研鑽の必要性も感じている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止委員会を作り、年に一回以上の所内研修や、外部研修にも参加している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	4	同意は取っているが、計画にまで取り入れられていない。保護者や利用児に対する説明が不十分。	計画に盛り込んでいくようにしていく。